

テレワーク試行・体験プロジェクトの概要

1 テレワーク試行・体験プロジェクトとは

テレワーク試行・体験プロジェクトとは、総務省及び厚生労働省が用意するテレワーク試行・体験システムを活用して、多くの企業、地方公共団体にテレワーク(在宅勤務、モバイルワーク等)を試行・体験してもらい、テレワークの効果・効用を体感いただくことを通して、テレワークの普及促進を図るものです。

2 テレワーク試行・体験システムの概要

テレワーク試行・体験システムは、職場のパソコンでの作業と同様の作業を職場以外の場所(自宅等)でも安全にできる環境を実現するものです。本システムの機能及び情報セキュリティ対策の概要は以下のとおりです。

なお、本システムの詳細については、参考資料(テレワーク試行・体験システムについて)をご覧ください。

(1)機能概要

本システムはリモートアクセスシステム及び IP 電話システムで構成され、インターネット上に設置されたりリモートアクセスシステムを介して、社外のパソコンから社内の自席設置パソコンまたは業務サーバ(以下、「自席設置パソコン等」という。)に接続できます。

社内の自席設置パソコン等に、本プロジェクトで提供する専用ソフトウェアを事前にインストールし、社外の手元パソコンに、個人専用の認証 USB メモリキーを挿入して接続認証を行うと、社内の自席設置パソコン等のデスクトップ画面が表示され、社外にいながらあたかも手元に社内環境があるかのような操作性を体感いただけます。また、必要に応じて、IP 電話システムによる音声通話サービスを提供します。テレワーク体験者は、社外の手元パソコンから IP 電話システムに接続し、本システムに接続する社内や自宅等にいるテレワーク体験者との無料通話が可能となります。

なお、Web 閲覧できる環境であれば本システムを利用できますので、社内システムやネットワーク環境(既設のファイアウォール/ルータ等)の設定変更など煩雑な作業は不要です。

(2)情報セキュリティ対策の概要

自席設置パソコン等への接続にあたっては、個人専用の認証 USB メモリキーを使用するとともに、接続に利用する社外の手元パソコンに一切データをダウンロードせず、画面情報のみ転送する仕組みとなっておりますので、なりすましによる不正アクセスやウィルス感染したパソコンによる情報漏えいなどの心配はなく、安心・安全に在宅勤務やモバイルワークを体感いただけます。



手元のパソコンに個人専用の認証USBキーを挿入するだけで、セキュアな環境で社内システムに接続可能
～ワークスタイルに合わせて様々なシーンから在宅勤務やモバイルワークを実現～

参加者募集要項

テレワーク試行・体験プロジェクトに参加を希望される方を以下のとおり募集いたします。

1 募集対象

テレワークに興味をお持ちの企業または地方公共団体

2 募集企業数等

100社程度。ただし、1企業等あたりのテレワーク体験者数等は6名程度までとします。

(注1) IP 電話システムによる音声通話サービスのご利用を希望される場合には、テレワーク勤務を実際に体験される方だけでなく、テレワーク体験者とIP電話システムにより音声通話する社内(オフィス)側にいる上司や同僚等の方も「テレワーク体験者」扱いとなりますのでご注意ください。(なお、IP 電話システムによる音声通話サービスをご利用にならない場合は、テレワーク勤務を実際に体験される方のみが「テレワーク体験者」扱いとなります。)

(例) IP 電話システムによる音声通話サービスのご利用を希望される場合

テレワーク勤務を実際に体験される方:2名	} テレワーク体験者数は6名となります。
テレワーク体験者とIP電話システムにより音声通話する社内(オフィス)側	
にいる上司や同僚等の方	
:4名	

3 募集受付期間

平成19年7月 日()～平成19年8月31日(金)

4 実験期間(予定)

平成19年11月～平成20年1月(3か月間程度)

(注2) 実験開始・終了時期については、参加決定者の方に別途ご連絡いたします。

5 応募方法

指定の応募用紙に必要事項をご記入いただき、下記提出先へ電子メールでご送付ください。

提出先: 総務省情報通信政策局情報流通高度化推進室

(総務省ホームページ) http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/telework/index.htm

(電子メールアドレス) telework@soumu.go.jp

6 応募条件

Web 閲覧できるパソコン環境であれば本システムを利用できますので、社内システムやネットワーク環境(既設のファイアウォール/ルータ等)の設定変更など煩雑な作業は必要ありませんが、以下の必要最小限の環境をご準備いただく必要があります。

〈会社内〉

- ①就業者が利用する社内の自席設置パソコンまたは業務サーバ(以下、「自席設置パソコン等」という。)に対して、適切なセキュリティ対策(ファイアウォール等の利用、ウィルス対策ソフトの定義ファイルの更新、OS 等への最新パッチの適用等)が施されていること。
- ②ブロードバンド環境(1.5Mbps 以上)を有しており、就業者が利用する社内の自席設置パソコン等に対して、インターネットのアクセスを許可していること。
- ③就業者が利用する自席設置パソコン等は、Microsoft Windows2000 以降の OS を搭載していること。
- ④自席設置パソコン等に対して、本プロジェクトで提供する専用ソフトウェアのインストールを許可できること。

〈会社外〉

社外で業務を行える環境の中には、出張中のホテルのインターネット環境やサテライトオフィス、自宅、公衆無線 LAN アクセスポイント等が想定されますが、それらの場所では、以下の環境が必要となります。

- ①ブロードバンドにて、インターネットへの接続が可能なパソコンがあること。
- ②パソコンは、Microsoft Windows2000 以降の OS を搭載していること。また、USB キーの接続が可能であること。

7 選考方法等

(1)選考方法について

幅広い方にご参加いただくため、地域や業種、年齢、性別、職種などを考慮し、選考します。

(2)発表方法について

応募者の方には、9月下旬以降に、ご登録いただきましたメールアドレスあて、順次結果を通知させていただきます。

なお、参加決定者に選ばれなかった応募者の方の情報は、選考期間終了後速やかに破棄いたします。

8 その他応募にあたっての留意事項

(1)アンケートについて

実験参加の方には、労務管理面や社会的視点から見た効果や問題点、システム性能評価等の検証を行うためのアンケートにご協力いただきます。

(2)費用について

本プロジェクトへの参加費用はかかりません。テレワークに用いるシステム(認証 USB メモリキー等)を無償提供させていただきます。

(3)その他

- ①本プロジェクトに関する詳細情報は、以下のサイトよりご確認ください。

http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/telework/index.htm

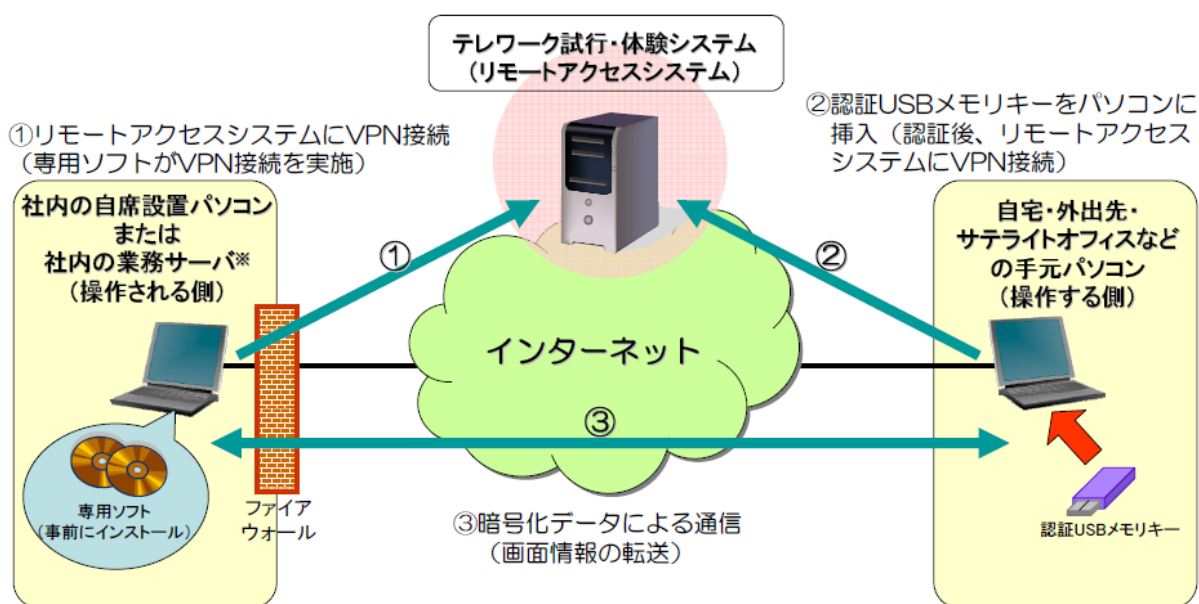
- ②国土交通省が実施予定の郊外型テレワークセンター実証実験の一環として整備される、テレワークセンター(共同利用テレワークスペース、神奈川県及び埼玉県で各1箇所程度を予定)もご利用いただけます。

テレワーク試行・体験システムについて

テレワーク試行・体験システムはリモートアクセスシステム及び IP 電話システムで構成されます。それぞれのシステムの詳細は下記のとおりです。

1 リモートアクセスシステム

(1)概要



※社内の自席設置パソコンのみでなく、業務サーバ（ファイルサーバ等）への設定も可能です。

【接続までの流れ】

- ①社内の自席設置パソコンや業務サーバ(以下「自席設置パソコン等」という。)に対し、本システム専用のソフトウェアを事前にインストールすることにより、社外からのVPN接続のための環境を構築します。ユーザーは、必要に応じて、リモートアクセスシステムでの認証及びVPN接続を実施し、待ち受け状態を確立します。
- ②ユーザーが社内の自席設置パソコン等にアクセスする場合には、手元パソコンに個人専用の認証USBメモリキーを挿入し、ユーザー名・パスワード等を入力することにより、リモートアクセスシステムでの認証及びVPN接続を実施し、End to End(拠点間)のVPN環境を確立します。
- ③認証完了後は、手元パソコンに社内の自席設置パソコン等の画面情報が転送されますので、あたかも手元に、自席設置パソコン等があるかのような操作が可能となります。

(2)特徴

- ①Web閲覧のための外向けポート80番ポートもしくは443番ポートを使用しますので、社内システムやネットワーク環境(既設のファイアウォール/ルータ等)の設定変更など煩雑な作業は必要ありません(社外から社内へアクセスするためのポート開放は不要です。)。社内の自席設置パソコン等に、本システム専用のソフトウェアを事前にインストールし、個人専用の認証USBメモリキーを社外の手元パソコンに挿入するだけで、社内の自席設置